

「ひかりサロン蓮田」が新サービス

蓮田市の商業施設内で、高齢者のデイサービスなど介護福祉事業を行う「ひかりサロン蓮田」が今春、「ショッピングリハビリ」を始めた。店を歩き、買う商品を考え、お金を支払う買い物が高齢者の認知症予防や歩行訓練のほか、引きこもりや買い物難民対策につながるという。「町に出てくるリハビリ」として注目を集めている。

【上野宏人】

サロンはJR蓮田駅前の東武ストア蓮田メイン2階にある。50～90代の利用者約20人のほとんどが週に1度利用する。8月末の午前中には70～80代の女性4人がスタッフに送迎されて訪れ、健康チェックや体操、脳活訓練などの後、エレベーターで地下1階のスーパーへ向かった。

4人はカートを押しながら、野菜や肉、弁当などを次々に手に取る。付き添いのスタッフが自由に買いたい物を楽しむ。足元に歩

買い物楽しみりハビリ

高齢者引きこもり対策も



リハビリカートを押しながらスーパーで買い物をする女性(右)＝蓮田市東5の東武ストア蓮田メインで

たい」と語る。

連携するスーパーにとっても、日ごろ買い物に出られない高齢の客にまともな買い物をさせるなどのメリットがある。

直井さんは7年前から、伊奈町や桶川市で認知症の高齢者向けのデイサービスを展開。家事など生活を通

したりハビリに効果を感じていた。また、埼玉県は2015年から25年の75歳以上の人口の伸び率が15.6・4%と全国最高と見込まれ、高齢者の引きこもりなどが懸念されている。

そんな折、直井さんは昨夏、島根県雲南市の民間会社「社光プロジェクト」のシ

ョッピングリハビリ」を知り、同社開発の高齢者用リハビリカートを導入。蓮田で事業を始めた。「買い物は近所の人と顔を合わせることもある社会参加。ショッピングリハビリが地域の課題解決の突破口になり得る」と意気込んでいる。

蓮田市と白岡市など周辺の送迎可能なエリアの住民が利用できる。問い合わせは「ひかりサロン蓮田」(048・797・8005)

障害者
139人確

県教委

県教育

員の障

増してい

県教委は

手帳の有

た結果を

月1日現

した障害

92人だ

139人

人、事務

手帳を確

用数から

害者雇用

と法定の

回る2

が、1

た。

国のガ

は、障

る場合

指定医

確認す

る。

県教委